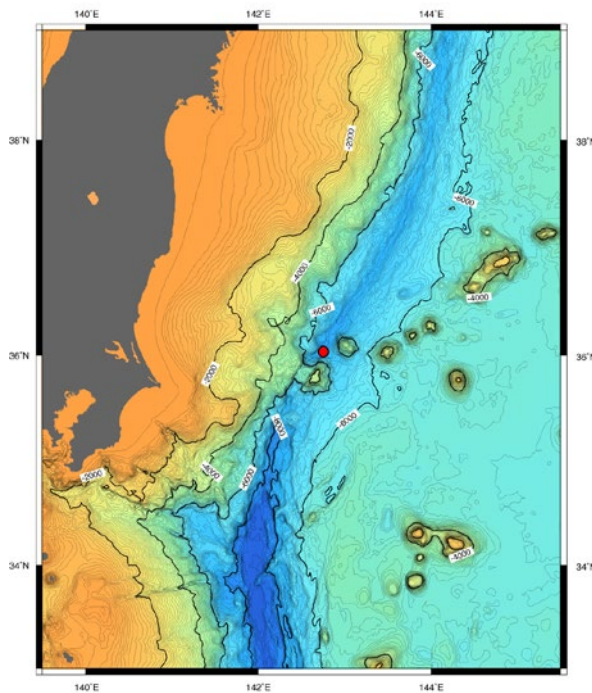


提出日：平成 24 年 12 月 12 日

クルーズサマリー

1. 航海情報

- 航海番号 KR12-19
- 船舶名 かいれい
- 航海名称 日本海溝・小笠原海溝微生物・地球化学調査
- 首席研究者〔所属機関名〕 布浦 拓郎 [海洋研究開発機構]
- 課題代表研究者〔所属機関〕 布浦 拓郎 [海洋研究開発機構]
- 研究課題名 : 「超深海の物質循環と微生物生態系の解明」
- 航海期間 平成 24 年 11 月 30 日～12 月 7 日
- 出港地～寄港地～帰港地の情報 JAMSTEC 横須賀～JAMSTEC 横須賀
- 調査海域名 北西太平洋-日本海溝・小笠原海溝
- 調査マップ



KR12-19 航海における調査地点を赤点で示す。

2. 実施内容

- 調査概要

本航海の目的は、水柱及び堆積物中の微生物生態系及び物質循環への海溝地形の影響、特に海溝内の水平方向の物質循環の可能性を検討することにある。本航海では、小笠原海溝北端

域(34N)、日本海溝南端域(36N)、日本海溝 JFAST 掘削点(38N)の3地点における採水、採泥を計画していたが、実際の調査は、海況不良により日本海溝南端域(36° 0-.00' N, 142° 48.12' E, 水深8---m)における採水、採泥に留まった。具体的には、CTD カルーセル採水システムによる2度にわたる表層から海溝内水塊までの採水、11K 自由落下式カメラシステムによる海溝底からの採泥を行った。なお、航海期間中、ROV ABISMO による潜航調査を1度行ったが、機器の不調により作業は中止された。採取した試料については船上で化学・微生物学解析を行ったが、航海終了後にも引き続き分子生態解析、地球化学解析を中心に研究を進める。